

この子らと

令和6年12月号

命輝く子ども



わくわく鹿児島中央認定こども園



園長 川口公男

12月は、交通事故が最も多い月!!!

交通事故は、誰もが加害者となり被害者となりうるものです。自分だけは大丈夫という過信や油断が事故を誘います。

今まで、普通に生活していた人が加害者となり、被害者となって急に人生を狂わせ、台無しにします。



つついスピードを出してしまったり、急な割り込みをしたり、疲れから居眠りしたりと普段行わない、危険な運転をしてしまう人が増える年末です。

新年を幸せな一年とするためにも保護者の皆様も職員もともに事故を起こさないよう心したいものです。

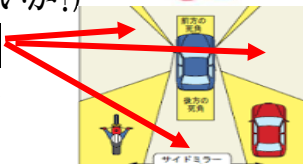
「交通事故防止の5つのポイント」

1 周囲の安全を確認してから、乗車・発進するようにしましょう。

(特に子どもたちは遊んでいないか?)



2 ミラーやモニターには死角があります。目視での確認しましょう。



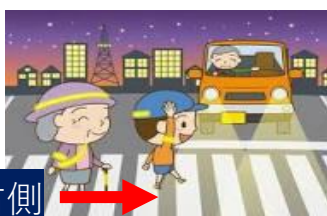
3 見通しの悪い道路に進入する場合、一時停止・多段階停止をして進行しましょう。

一時停止後、左右確認できる場所で再度停止する。



4 状況に応じて適切な速度で走行しましょう。

5 どのような場所で死角があるかを理解し、死角に潜む危険を予測しましょう。



右側 →

横断歩行中の死亡事故の80%は、車から向かって「右側」から横断してきた人です。

【幸福度】都道府県別ランキング (2023年)

- 1位 沖縄県
- 2位 **鹿児島県**
- 3位 熊本県
- 4位 三重県
- 5位 大分県
- 6位 奈良県
- 7位 宮崎県
- 8位 滋賀県
- 9位 福岡県
- 10位 高知県
- 10位 山梨県
- 31位 佐賀県

都道府県平均の幸福度は「68.3点」で前年の「70.1点」より低下しました。これは「とても幸せ」が前年よりも減少したことによります。その理由の第一は「物価高」であるようです。

九州地区の満足度は高く、佐賀県31位を除いたいずれの県も10位以内となっています。沖縄県、鹿児島県民は「幸せ」率が高くなっています。

昭和54年(1979年)～平成23年(2011年)に渡り放映された「3年B組金八先生」、金八先生の「幸せ」についての言葉が名言です。

幸せになろうと思わないでください。幸せをつかみに行ったら幸せをつかんだ人は一人もいません。幸せは、感じるものです。

幸せを数えたら、あなたはすぐに幸せになれる
ショーベンハウアー

2025年は、「巳年」(へびとし)



干支は十干の乙と十二支の巳で「乙巳」(きのとみ)年です。

乙は「草木がしなやかに伸びる」、巳は、「神様の使いとして大切にされてきた動物で脱皮をくり返すことから「不老不死」のシンボルです。

来年は「再生や変化を繰り返し、柔軟に発展していく年」になりそうです。**良いお年を!!**